

管理医療機器 機械器具 84 附属品で、厚生労働省令で定めるもの
 麻酔用マスク *JMDNコード 35176000
 (人工呼吸器用マスク *JMDNコード 70564000、空気・酸素マスク *JMDNコード 35171000)
アンブディスポフェースマスク

再使用禁止

【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
◆再使用禁止

※

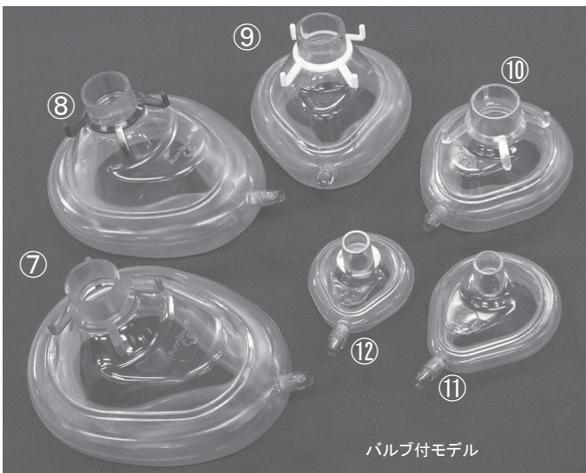
【形状・構造及び原理等】

1. 構成

- * フェースマスク ※ラテックスフリー
- ①アンブディスポフェースマスク ラージアダルト フックリング付
 - ②アンブディスポフェースマスク ミディアムアダルト フックリング付
 - ③アンブディスポフェースマスク スモールアダルト フックリング付
 - ④アンブディスポフェースマスク 小児 フックリング付
 - ⑤アンブディスポフェースマスク 乳児
 - ⑥アンブディスポフェースマスク 新生児
 - ⑦アンブディスポフェースマスク バルブ付 ラージアダルト フックリング付
 - ⑧アンブディスポフェースマスク バルブ付 ミディアムアダルト フックリング付
 - ⑨アンブディスポフェースマスク バルブ付 スモールアダルト フックリング付
 - ⑩アンブディスポフェースマスク バルブ付 小児 フックリング付
 - ⑪アンブディスポフェースマスク バルブ付 乳児
 - ⑫アンブディスポフェースマスク バルブ付 新生児
- 添付文書



※ バルブなしモデル



バルブ付モデル

2. 原理

フェースマスクが顔に密着し、換気を行うことにより、換気用器具からのガスが患者さんに送られ、また、肺からのガスが(換気用器具の)呼吸側回路に流れます。バルブ付モデルでは、カフの膨らみ具合を注射器等により調節できます。

***【使用目的又は効果】**

* 麻酔用マスク、人工呼吸器用マスク、空気・酸素マスクの定義から逸脱しない使用目的又は効果の範囲で使用される器具です。具体的には、上気道に麻酔ガスを供給するため、患者さんの鼻と口に設置する円筒形の器具です。人工蘇生器とともに用いることもあります。

***【使用方法等】**

- ①パッケージからフェースマスクを取り出し、フェースマスクに損傷がないことを確認してください。
- ②カフに損傷やリークの無いことを確認してください。
- ③フックリングが不要の場合、取り除いてください。
- ④バルブ付モデルでは、市販の注射器を使って、カフの膨らみ具合を患者さんに合わせて、調節してください。
- ⑤使用後は廃棄してください。

***【保管方法及び有効期間等】**

※ 保管中は水のかかる場所、高温多湿な場所、直射日光の当たる場所、埃の多い場所、ガスを発生する恐れのある化学薬品の保管場所、空气中に塩分・イオウ分など本品に有害な成分を含んでいると思われる場所等、本品に悪影響を生ずる恐れのある場所を避けてください。

※ 保管条件

- ※ 保管温度：-40～+70℃
- ※ 保管湿度：10～100% (非結露)

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者の名称：アイ・エム・アイ株式会社
 製造業者名(国名)：Ambu A/S(アンブ社)(デンマーク)